

熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例
の一部を改正する条例をここに公布する。

令和 7 年 6 月 27 日

熊谷市長 小 森 哲 也

条例第 3 2 号

(別紙)

熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例

熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例（平成19年条例第10号）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

熊谷市土砂等の堆積による土壌の汚染の防止に関する条例

第1条中「たい積に」を「堆積に」に、「無秩序な土砂等のたい積」を「土砂等の堆積による土壌の汚染」に改め、「市民の生活の安全の確保及び」を削る。

第2条第1号及び第2号中「たい積」を「堆積」に改め、同条第3号中「たい積区域」を「堆積区域」に、「たい積を」を「堆積を」に改める。

第3条中「無秩序な土砂等のたい積」を「土砂等の堆積による土壌の汚染」に、「たい積を監視する」を「堆積を監視する」に改める。

第4条の見出し中「たい積」を「堆積」に改め、同条中「たい積を」を「堆積を」に、「そのたい積に係る土砂等の流出、崩壊その他の災害の発生」を「土砂等の堆積による土壌の汚染」に、「たい積区域」を「堆積区域」に改める。

第5条中「無秩序な土砂等のたい積により、土砂等の流出、崩壊その他の災害が発生することのないよう」を「土砂等の堆積による土壌の汚染を防止するため」に改める。

第6条（見出しを含む。）中「たい積」を「堆積」に改める。

第7条から第16条までを削る。

第17条の見出し中「たい積」を「堆積」に改め、同条中「許可を受けた者は、当該許可に係る」を「土砂等の堆積を行う者は、堆積区域の面積が500平方メートルを超え3,000平方メートル未満である場合においては、当該」に、「たい積に」を「堆積に」に、「た

い積の」を「堆積の」に、「たい積区域」を「堆積区域」に、「規則の」を「規則で」に改め、同条に次のただし書を加える。

ただし、次に掲げる土砂等の堆積については、この限りでない。

- (1) 土地の造成その他の事業の区域内において行う土砂等の堆積であって、当該事業の区域における土砂等のみを用いて行うもの
- (2) 法令又は他の条例の規定による許可等の処分その他の行為で規則で定めるものに係る行為として行う土砂等の堆積であって、規則で定めるところにより市長に届け出たもの
- (3) 公益性が高いと認められる事業の実施に係る行為のうち土砂等の堆積による土壌の汚染のおそれがないものとして規則で定めるものに係る土砂等の堆積
- (4) 災害復旧のために必要な応急措置として行う土砂等の堆積
- (5) 法令若しくは条例又はこれらに基づく処分による義務の履行に伴う土砂等の堆積
- (6) 前各号に掲げるもののほか、土砂等の堆積による土壌の汚染のおそれがないものとして規則で定める土砂等の堆積

第17条を第7条とし、同条の次に次の1条を加える。

(関係書類の閲覧)

第8条 土砂等の堆積を行う者は、規則で定めるところにより、当該土砂等の堆積を行っている間、前条本文の規定により市長に届け出た書類の写しを、土砂等の堆積に関し生活環境の保全上利害関係を有する者の求めに応じ、閲覧させなければならない。

第18条から第20条までを削る。

第21条中「たい積」を「堆積」に改め、同条を第9条とする。

第22条第1項中「たい積を」を「堆積を」に、「たい積区域」を「堆積区域」に、「たい積の」を「堆積の」に改め、同条を第10条とし、第23条を第11条とする。

第 24 条の前の見出し及び同条を削る。

第 25 条の前の見出しとして「（罰則）」を付し、同条中「又は第 19 条第 1 項」を削り、同条を第 12 条とする。

第 26 条第 1 号を削り、同条第 2 号中「第 16 条第 1 項又は第 17 条」を「第 7 条」に改め、同号を同条第 1 号とし、同条第 3 号中「第 21 条」を「第 9 条」に改め、同号を同条第 2 号とし、同条第 4 号中「第 22 条第 1 項」を「第 10 条第 1 項」に改め、同号を同条第 3 号とし、同条を第 13 条とする。

第 27 条を削る。

第 28 条中「第 24 条から前条まで」を「前 2 条」に改め、同条を第 14 条とする。

附則第 2 項の前の見出し並びに同項及び第 3 項を削る。

附則第 4 項中「並びに附則第 2 項の規定に基づきなお従前の例により行われている土砂等のたい積に係るこの条例の施行後にした行為及び前項後段の規定によりなおその効力を有することとされる場合におけるこの条例の施行後にした行為」を削り、同項を附則第 2 項とし、同項に見出しとして「（経過措置）」を付する。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は令和 7 年 7 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例（以下「旧条例」という。）第 7 条第 1 項又は第 10 条第 1 項の許可を受けて行われている土砂等のたい積に関する旧条例第 4 条、第 5 条及び第 9 条から第 22 条までの規定の適用については、当該許可の期間が満了する日までの間（当該許可の期間が満了する日までに旧条例第 19 条の規定による命令を受けた者にとっては、

当該命令に係る事由が消滅する日又は当該許可の期間が満了する日のいずれか遅い日までの間）は、なお従前の例による。

- 3 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に旧条例第7条第1項又は第10条第1項の許可の申請があった場合において、施行日の前日までに当該申請に対する処分がされないときは、当該申請は、同日に、却下されたものとみなす。
- 4 施行日前に旧条例第7条第1項又は第10条第1項の規定に違反して行われた土砂等のたい積に関する旧条例第4条、第5条、第19条第2項及び第20条から第22条までの規定の適用については、なお従前の例によることができる。
- 5 施行日前にされた旧条例第19条第2項の規定による命令を受けた者に対する旧条例第21条及び第22条の規定の適用については、当該命令に係る事由が消滅する日までの間は、なお従前の例による。
- 6 施行日前にした行為並びに附則第4項及び前項の規定によりなお従前の例によることとされる場合における施行日以後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

（熊谷市景観条例の一部改正）

- 7 熊谷市景観条例（平成21年条例第32号）の一部を次のように改正する。

別表第1第3号中「次に掲げるもの」を「熊谷市土砂等の堆積による土壌の汚染の防止に関する条例（平成19年条例第10号）第2条第2号に規定する土砂等の堆積」に改め、同号(1)及び(2)を削る。